

よく学び、心身共にしなやかで、たくましい児童の育成を図る

【目指す学校像－1】  
 児童が楽しく学び、共に認め合い・高め合うことでしなやかな心と健やかな体を育てる学校

知育  
 (あたまそだて)

- ① 児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ↓
- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と主体的に学習に取り組む態度の育成
  - ・「読み・書き・計算」の徹底した習得による学習基盤の構築
  - ・『石小スタンダード』の「石小っ子の学び方」「家庭学習のススメ」を活用した学習習慣の確立
  - 校内研究「自己を見つめ共によりよく生きる児童の育成」と一般研修(校内研修)を通じた教科指導力の向上
  - 各教科の授業における「書く活動」の意図的な設定による児童の豊かな言語感覚と国語(母国語)を愛する心情や論理的記述力等の育成
  - 外国語科(活動)の指導の充実
  - ・全学年で英語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度の素地を養う。
  - ・高学年では、英語の音声に慣れさせ、基本的な表現の技能を高める。
  - 高学年を中心とした教科担任制の充実

徳育  
 (こころそだて)

- ②心を育て・心を耕す教育活動の展開
- ↓
- 自他を大切に児童を育てる取組の推進
  - ・共に認め合い支え合う集団を築くアセス等(SEL、PBIS等)の活用と工夫
  - かかわり合う力をはぐくみ、望ましい人間関係を築く異年齢集団での活動の推進
  - ・たてわり活動の充実
  - ・異学年交流活動の創意工夫
  - 思いやりの心、しなやかな心、たくましい心をはぐくむ行事の充実
  - ・思いやりとたくましさを育む 運動会、集団宿泊学習、学芸会、卒業式、児童会行事、たてわり活動、自由参観日での祖父母や地域の方との触れ合い
  - 我が国の伝統文化を大切に教育の推進
  - ・主体的に百人一首、古典暗唱等に取り組み、母国語の美しさを感じる活動の創意工夫
  - ・行動様式(礼儀作法)に関する指導の重点化(本校「石小っ子の作法」に基づく)
  - ・「かしわタイム」及び「総合的な学習の時間」における伝統文化教育の推進
  - 人としてよりよく生きようとする心情の育成
  - ・自己を見つめ、振り返る場の設定(黙想の導入・呼吸法の指導)
  - ・道徳・学級活動・朝の会・帰りの会の創意工夫
  - ・朝会の講話の活用

体育  
 (からだそだて)

- ③体力の向上・健康増進を図る教育活動の継続
- ↓
- 体力づくりの継続と推進
  - ・年間を通じた外遊びの奨励と人的・物的環境構成の工夫
  - ・体育の授業における系統的な基礎体力づくり(毎時間10分)
  - ・業間マラソン等の運動の継続と運営の工夫
  - ・体力テストの実施と結果の活用(令和元年度との比較)
  - ・走力、投力、握力の重点指導
  - ・各学年で児童に身に付ける内容の明確化と定着を図るための指導の工夫
  - 健康安全・体育的行事の充実
  - ・運動会における規律ある集団行動の徹底と児童の主体的な取組の工夫
  - ・技の積み上げと立つ・歩く・走るなどの集団の美しい姿の追求
  - 児童に自分の生活を見つめさせる指導
  - ・基本的な生活習慣の指導の充実と保護者への啓発
  - ・長期休業期間後に行う「食生活点検カード」の活用
  - ・食育(いのちそだて)と連動させ、進んで体を鍛えること、外遊びをすることの奨励
  - ・保健指導、保健学習における健康・安全指導の充実

食育  
 (いのちそだて)

- ④「知育・徳育・体育」の根本を支えるものとしての「食育」の推進
- 食に関する授業実践
  - ・食事の重要性や喜び、楽しさが分かる授業の工夫
  - ・栽培・収穫・調理などの体験的な学習の実施
  - ・食育コーナーの設置
  - 給食の時間における指導
  - ・楽しい食事の場の設定
  - ・安全・衛生に配慮した準備や後片付けの指導
  - ・「もぐもぐタイム」や「食育タイム」における食事のマナーに関する指導
  - ・「食育の日」(19日:食への興味・関心を高める日)と「食に感謝する日」(0の付く日:残食0を目指す)の放送及び一ロメモの活用
  - 学校と家庭・地域との連携
  - ・「石小スタンダード」や「石小っ子カード」の活用
  - ・ホームページで学校の取組を家庭や地域に情報発信
  - ・健康によい食事の取り方が分かる授業の工夫
  - ・食文化に関わる読み聞かせや授業の工夫
  - ・「食に関する指導の年間計画」及び「食に関する単元・題材一覧表」の活用
  - ・好き嫌いしないで食べたり、よくかんで食べたりするための指導
  - ・感謝の気持ちを育てる食事のあいさつの実施
  - ・長期休業期間後に行う「食生活点検カード」の活用
  - ・食に関する知識や経験を有する人材の有効活用

⑤志教育の推進

- 志教育の意義と在り方についての理解を深め、教育活動全体での実践を図り、全体計画及び年間指導計画の改善に努める。
- 各教科・領域等の教育活動全体をとおして、児童が自らの将来の生き方を考え、学びの意欲が高まるよう努める。
- 家庭や地域への啓発を図り、地域の方との交流活動や職場体験、ボランティア活動等がよりよい形で実践できるように努める。
- 児童の実態に即して、「みやぎの先人集」や「ヒント集」等を活用しながら、計画的に取り組むよう努める。

⑥防災教育の推進

- 震災の教訓を生かし、教科や特別活動等を含め、学校教育活動全体を通じて、児童の発達段階に応じた系統的な防災教育の推進に努める。
- 児童が自ら危険を予測し、回避する能力の育成を図るために、「みやぎ学校安全基本指針」等を参考に、副読本や視聴覚教材、各種情報ツールを活用しながら指導に当たる。
- 児童の安全確保を図るため、避難訓練等の実施や防災計画等の策定においては、家庭・地域、関係機関等との連携に努める。
- 防災主任を中心として、学校防災マニュアルの周知徹底を図り、全員が共通理解の上で、児童の安全確保を最優先した適切な対応ができるようにする。
- 地域との連携による防災教育・組織運営の推進を図る。
- たてわり班(異年齢交流)を生かした防災教育活動の創意工夫を図る。

⑦教職員の資質能力の向上

- 指導力向上を図る日々の研修の充実
- 児童の特性を踏まえた学級経営と教科指導
- 教職への使命感の確立と自己の指導力やものの見方・考え方の向上
- 安全管理や危機管理等に関する意識の高揚

⑧保護者や地域住民との連携

- 「地域に根ざし、人と人とのかかわりを大切にする学校づくり」の一層の推進
- 学校だより『みずのわ』の全戸閲覧
- 『石巻小ホームページ』の充実
- 保護者や地域住民が訪問しやすい学校の雰囲気づくり

【目指す学校像－2】  
 一人一人の教職員が使命感に燃え、豊かな発想と協働で授業や行事を創造する学校

【目指す学校像－3】  
 児童や教職員の姿を通して、保護者や地域住民に感動を与え、期待や信頼に応える学校